



IMCJ

Innovation Management College of Japan

イノベーション 経営カレッジ 2023

Innovation
Management
College 2023

自社の変革を目指した
「活きた問題解決力」を磨きます

IMCJ Challenge Camp

◆日程 (2023年 第6期)

Day 1 10月20日[金]	Day 6 1月19日[金]
Day 2 11月2日[金]	Day 7 2月9日[金]
Day 3 12月1日[金]	Day 8 3月1日[金]
Day 4 12月21日[木]	最終発表
Day 5 12月22日[金]	3月22日[金]

◆会場

JUAS会議室 (Day4、5については外部会場の可能性有)

◆参加費用 (会場への往復交通費含まず)

1名様 363,000円 (税込) 本体価格 330,000円

IMCJ 2.0

◆日程 (2023年 第21期)

事前オリエンテーション	9月15日[金]
前半	10月10日[火]~13日[金]
後半	11月7日[火]~10日[金]
総括	12月20日[水]

◆会場

前後半：軽井沢プリンスホテル(長野県軽井沢町)
総括：都内会場

◆参加費用 (個室宿泊費・食事代含む。会場への往復交通費含まず)

1名様 726,000円 (税込) 本体価格 660,000円

明日のイノベーション経営の担い手を育成

今日、世界中でパラダイムシフトが起きています。この激しい変化のなかで企業が存続していくためには、パラダイムに適応した新たなビジネスモデル、新しいビジネスプロセスを模索していかなければなりません。今や変革に不可欠な存在となったデータとデジタル技術。これらを武器として活用し、新しい価値を創造することが「イノベーション経営」です。そして、イノベーション経営を実現するうえで、人の心の変革も、欠かすことのできない重要なファクターです。

イノベーション経営カレッジは、「企業と人の心を変革するイノベーション」を実践する人材を育成・支援する場です。「プログラム」「コミュニティ」「ラボ」という3つの活動を通して、「イノベーション経営の普及・推進」に取り組んでいます。

このうち、「プログラム」のIMCJ2.0では、2009年より、次代のイノベーション経営を担うミドルマネジメント層向けのプログラムを実施、のべ328名の卒業生を輩出しています。いずれも企業の中核を担う人材として活躍されています。また、Challenge Campは、異業種で共通課題について議論し、「既存ビジネスとデジタル技術を融合し新たなビジネスを協創する場」として、2018年に新たにスタートし、のべ92名の方に参加いただいています。

PROGRAM
01
出島スタイルの協創の場
IMCJ Challenge Camp
デジタルプロジェクトのプロセスを、オリジナル
フレームワークで体感する、出島スタイルの協創プログラム

PROGRAM
02
新たな価値を生み出せる、
マネジメントの仕組みづくり
IMCJ2.0
これからの組織経営を担う幹部候補向けプログラム

PROGRAM **01** IMCJ Challenge Camp 7つのポイント

01. 出島スタイルの協創の場

JUASのプラットフォームを最大限に活かし、業界を代表する企業の組み合わせによる協創の場を提供、企業単独で取り組む事業創造では思いつかないアイデアから、顧客中心のビジネスをデザインします。

02. 異業種の化学反応

異業種メンバーの知恵と多彩な経験をぶつけ合って化学反応を起こし、新しい着想による事業構想を得ます。

03. 課題を企業共通課題or社会課題にリフレーミング

持ち寄った課題を、企業共通課題もしくは社会課題にリフレーミングし直した上で、異業種チームを結成して問題に取り組みます。

04. 顧客起点でのストーリー創り

最新テクノロジーに寄りかちなDXをカスタマーエクスペリエンス起点で、アイデア出し、ストーリー創りを実施します。

05. デザイン志向をベースにしたオリジナルフレームワーク

3つのステージで、価値・アイデア(体験)・ビジネスモデル(実現手段)をデザイン。デジタルプロジェクトのプロセスをメンタロジーと徹底したワークショップを実践するオリジナルフレームワークで、腹落ちするまで体感します。

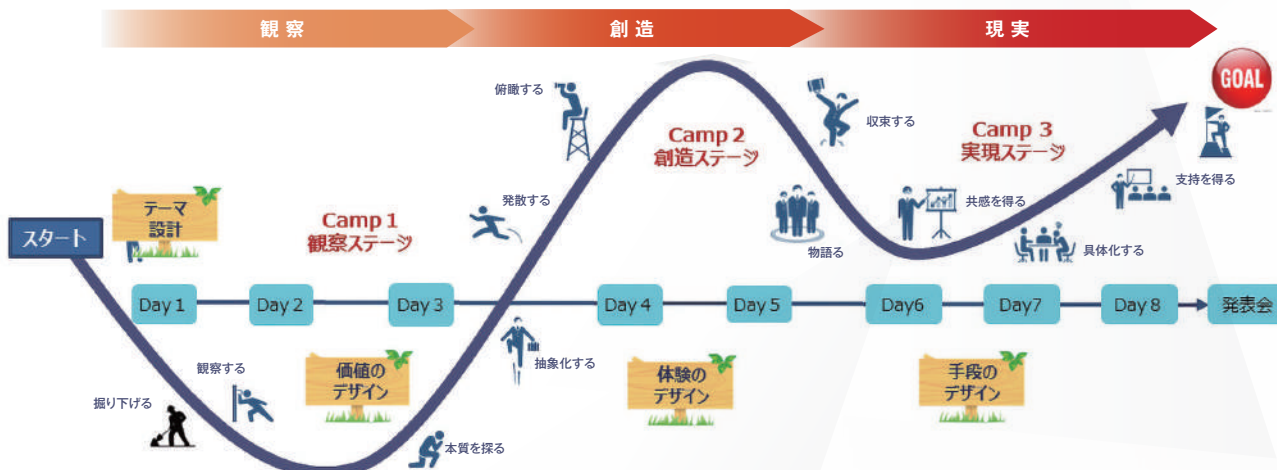
06. 「わかる」だけでなく、「できる」「持ち帰れる」

5か月のロングランサポートが生み出す「できた」実感、デジタルデザインメソッド・企画書・オリジナルムービーなどの成果物を持ち帰れます。

07. 価値検証コンセプトをムービーで表現

最終的には、デジタルプロジェクトに有効な価値検証コンセプトムービー(MVP)を製作。成果報告会でのプレゼンも実施します。

デジタルデザインメソッド 25ステップ、50ワークショップ、15種の成果物



01. 実践的

「守(前半)」 「破(後半)」 「離(総括)」 という3つのステップで実践力を磨きます。

02. 体系的

社会環境をふまえ、今～数年後に変革を担う人材に必要な知識や考え方を体系的にプログラムに盛り込んでいます。

03. ここでしか聞けない

講師陣は日本を代表するCEOやCIO中心。その経験とノウハウ、マインドを惜しむことなく披露していただいています。

04. 企業を超えたネットワーク

終了後も同期生だけでなく、他の期の受講生や講師陣との様々な情報交換を支援。

05. プログラムの評価

1～20期を通し、受講された方の満足度は、「とても満足」が約8割。



先進のリーダーシップを学び、
先進の成功体験・方法論から
「気づき」を得る。

大きな世の中の変化を感じ取り、
視点を広げ変化の中で、進むべき
方向を考える。

今後数年の **ロードマップ** を描く
(自身の変革プラン作りと発表)

イノベーションの実践
(業務やビジネスの変革)

環境整備

企業内変革

組織・人材・
企業内文化

IT変革

IT・デジタル技術
活用環境の整備

リーダーシップ

IMCJ2.0 カリキュラム例(2022年第20期)

	AM1 9:00-9:30	AM2 9:40-12:10	PM1 13:30-14:20	PM2 14:40-15:30	PM3 15:50-16:40	PM4 17:00-17:50	PM5 18:10-19:00
前半	1 10/4		◆ 講義:オリエンテーション 「イノベーションリーダーへの期待」 株式会社日本取引所グループ 専務執行役 横山 隆介 氏		◆ 講義 「デジタルイノベーションの潮流と 情報システム部門の役割」 株式会社 インプレス 編集主幹 兼 ビジネスメディア 事業部 第一編集統括部・部長 兼 IT Leaders 編集部プロデューサー 田口 潤 氏		交流会 (18:30-20:00)
	2 10/5	◆ ケーススタディ 「トラスコ中山におけるDXの推進とそれを支 える企業文化・風土の醸成と情報システム」 トラスコ中山株式会社 取締役 経営管理本部長 兼 デジタル戦略本部長 数見 篤 氏	◆ ケーススタディ 「JFEスチールの挑戦 ～変革に向けた骨太の取組を追求して」 JFEスチール株式会社 専務執行役員 新田 哲 氏		◆ 講義 「デジタル時代に向けた企業内変革」 株式会社アイ・ティ・アール 会長 内山 悟志 氏		
	3 10/6	◆ ケーススタディ 「データドリブン経営 ～SCMとMKIに関する情報活用」 元 花王株式会社 大路 延憲 氏	◆ 講義 「JR東日本における データマーケティングの推進と人材育成」 東日本旅客鉄道株式会社 MaaS/Suica推進本部 データマーケティング部門担当部長 渋谷 直正 氏		◆ ケーススタディ 「Challenge!!」 日本ベントコーポレートソリューションズ株式会社 常務執行役員 CIO 石野 普之 氏		
	4 10/7	◆ 講義 「経営戦略」 早稲田大学 IT戦略研究所所長/ ビジネススクール教授 根来 龍之 氏	◆ ケーススタディ 「日産自動車におけるデジタル戦略 その成果と今後 ～ビジネス変革への挑戦～」 日産自動車株式会社 グローバル IS/IT 理事 能丸 実 氏		オリエンテーション (前半振り返り) ※17:30終了		
後半	1 11/8		オリエンテーション	◆ 講義 「イノベーション経営の世界的動向の変化」 一般社団法人Japan Innovation Network 常務理事 松本 毅 氏		◆ ケーススタディ 「グローバルなIT部門の マネジメント、新しいマネジメント手法」 アステラス製薬株式会社 情報システム部長 須田 真也 氏	
	2 11/9	◆ ケーススタディ 「自分が変われば世界も変わる! よなよなエール流差別化戦略とチームづくり」 株式会社ヤッホーブルーイング 代表取締役 井手 直行 氏	◆ ワークショップ 「既存ビジネスの変革 デザインキャンプ」 花王株式会社 情報システム部門 元部長 濱田 文吾 氏				
	3 11/10	◆ 講義 「データと人工知能の最新動向と活用事例」 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 執行役員 森 正弥 氏	◆ ケーススタディ 「アジャイルで挑む維新、東京海上のDXとは」 東京海上日動火災保険株式会社 理事 IT企画部 部長 村野 剛太 氏			ディスカッション	
	4 11/11	◆ ケーススタディ 「バイモーダルIT」 株式会社クレディセゾン 取締役(兼)専務執行役員 CTO(兼)CIO 小野 和俊 氏	◆ 講義・ワークショップ 「IT組織のデジタル戦略」 株式会社NTTデータ経営研究所 執行役員 エグゼクティブ・コンサルタント 三谷 慶一郎 氏			総括に向けて& オリエンテーション	
総括 12/20			発表				修了式

ケーススタディ(事例)

講義(一部ワークショップあり)

ワークショップ

その他

発表

<http://imc-j.jp/>

IMCJ Challenge Camp

実績と参加者の感想

90%以上のメンバーが下記を体感

- 他社メンバーからの刺激やそれによるマインドの変化があった
- 様々な業界の多様な視点が入ることによる発想の広がりがあった
- 視野の広さ・視座の高さ・視点の鋭さへの影響



参加者からのコメント

- ゴールからの逆算ではなく、色々なメソッドから価値やアイデアを積み上げて解決策を創出するやり方は 普段は行っていないのでよい体験となった。また色々な思考のトレーニングは日々の生活で 意識することによって今までとは違う視点で既存のビジネスを見られるようになった。
- サービスを1から最後まで一連で、やったことがなかったため、良い経験となったと同時に、新サービスを生み出すことの難しさを知ることができた。
- 一旦具体を思考してから、抽象度を上げて再度既存のモノ・サービスをマッピングする作業は、具体→抽象→具体と直観的に解決策などを考えるのではなく、課題に対して有効な解決策を効率よく導き出すのに役立つと感じた。
- 自社で今回のようなワークショップの場合、本業にどう結びつけるかという思考になってしまう。様々な企業の方と一緒に活動できたことで、今までよりもフラットにユーザーのことを考えることができた。
- 日常の業務では体験できないカリキュラムで、人としての幅が広がったように思う。ここまで徹底した体験型プログラムを他には経験したことがなかった。

派遣企業責任者からのコメント

- 社外の方とアイデアを出し合っ一つのものにまとめていくプロセスが、実業務にもとても生きると思う。自分の会社で、周りの同僚にもこの経験を伝えていって欲しい。
- 日常業務を離れて、かなり頭に汗をかいたことと思う。徹底的に考え抜く経験は、なかなかできず、貴重な財産になると思う。



IMCJ 2.0

参加者の感想

20期参加者からのコメント

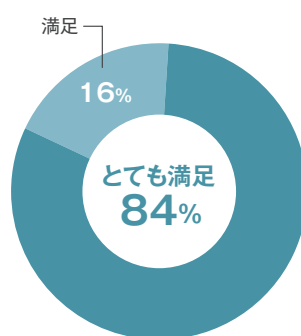
- これだけ集中して濃厚な講義を受けることができる機会をいただけたということが、本当に貴重でした。様々な講師の方の考え・取り組みを様々な面で知ることができ、研修生の皆さんと各社の状況を踏まえながら議論させていただけたことは何よりのものでした。8日間で自身の理解・意識が爆発的に上がっていることは、ディスカッションの中でも感じられるものでした。
- 各分野で大活躍されている講師陣から、最新の情報や具体的な事例などについて、ここでないと聞けない話がたくさん聞けました。また、同じような立場で業務されている参加メンバーが抱えている課題や考えていることを聞くことができ、同じ悩みや気づいていない課題に気づかされました。
- DX 推進に向けて多くのテーマ・要素があり勉強になったと同時に、会社の現状・未来を知る必要があると課題認識を持つことができました。会社の成長に向けて、道のりは簡単ではないことを改めて認識することができ、経営に対してこれまで以上に関与していきたいマインドを持つことができました。



企業推薦者の期待

- 技術力に加えて、IMCJ を受講することによってマネジメント能力に磨きを掛けていただき、社業の発展に貢献して貰いたい。
- ビジネスにおいても、身近においても様々なパラダイムシフトが起こっており、変化に適応し、新しい価値の創造を実践する人材は、企業が更に躍進するために最も重要な要素である。次世代経営管理職育成の一環として、イノベーション経営カレッジに参加し、学ぶことで、様々な知見に触れ、視野、人脈を広げ、デジタル変革を率先する人材として更に活躍することを期待する。
- 体系的な学びに加えて、同じような立場にある他社の人材との関係構築と継続的な交流を通して、一層の成長に期待している。

■ 全体評価 (1~20期)



■ 参加者の年齢層 (1~20期)

